

2009年(平成21年)1月8日(木曜日)

## シンクタンク Report から

ロシアN I S 貿易会は調査月報(2009年1月号)に掲載したレポート「鉄鋼立国ウクライナの蹉跌(さてつ)」で、「世界の主要鉄鋼生産国のなかでウクライナの減産率だけが飛び抜けて大きい」と指摘した。その上で同国経済の大黒柱である鉄鋼業の没落は「ウクライナ経済全体に大きな打撃となっている」と警鐘を鳴らす。

07年に世界3位の鉄鋼輸出国だったウクライナだが、金融危機が深刻化した08年10月の粗鋼生産は前年同月比48%減少。固有の減産要因として①輸出

## ウクライナ、鉄鋼業没落

——ロシアN I S 貿易会

依存度が高く鋼材生産のうち約8割が輸出される②輸出の中心は半製品で付加価値が低い——を挙げる。鉄鋼生産急減に伴い10月にはGDPが「前年同月比2.1%減と、ついにマイナス成長に転じた」という。レポートは「政府と鉄鋼業界が一体になって危機に対処しているという雰囲気はない」と対策の遅れを指摘。生産低迷が長期化するとの業界関係者の見方を紹介しつつ「体力の弱いウクライナの鉄鋼メーカーは世界の大手資本によるM&Aの対象になる可能性もある」と分析した。